

7月10日に豊橋市のあいトピアにて、東三河ブロック第1回研修会を開催しました。参加者は発表者を含め19事業所33名が研修に参加しました。

研修の内容は、4月にウインク愛知にてサマリヤの家が発表した「入居者の心のさけび」と研修用に用意した「新城市のRUN伴の歩み」、フジの「子供食堂について」です。

どちらの事例発表にも、参加者が共感できる部分がたくさんあり、皆さん真剣なまなざしで研修を受けておられました。



事例発表後には、今後、東三河ブロックの中から事例発表に多くの施設が参加して頂ける様に、プレゼンの模擬練習として、参加者の皆さんに自己紹介しがてら、自分の趣味についてプレゼンするという体験を頂きました。



発表する側から感じたことは、参加者の中には管理者や主任といった役職についている方も多く、役職の立場として発表を聞き、同じ思いを共感されている方や、介護職員の立場としてグループホームの取り組みの参考として聞いておられた方など、様々だとは思いますが、今日の研修が、各施設の新たな取り組みの第一歩として、踏み出すきっかけになってくれたらと思います。そして、研修に取り組む姿勢や、各施設の管理者の思いを聞き、東三河ブロックの良さを改めて実感することができました。

研修担当施設

グループホーム	サマリヤの家	管理者	熊谷圭介
グループホーム	フジ	管理者	白井有喜子